

平成18年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題の第2回指定について

平成18年10月26日
総合科学技術会議

平成18年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題として、下記の課題を指定することとする。

記

課題名	内容	担当府省
イノベーション創出シナリオの作成等のための調査研究	「イノベーション25」のとりまとめに向けて、各分野の専門家を対象に今後成長が期待できる分野や技術、その技術がどのように成長し活用されるようになるか、また技術の活用に向けて政府がとるべき方策等についてこれまでの関連調査の実績等踏まえ速やかに調査研究を行う。 (実施予定期間 1年)	文部科学省 (科学技術政策研究所)
オープン・アクセス・データベースの構築のための予備的調査	アジア地域における科学技術分野における国際協力を促進するため、アジア圏内の共同研究・人材交流に関する情報(ニーズとシーズ)を集約し各国から自由にアクセスできるデータベースの構築に向けた予備的調査を行う。 (実施予定期間 1年)	内閣府(※)
学協会の機能強化方策についての調査研究	約1700団体ある学協会は、細分化、会員数の減少、研究発表の場としての権威の低下等が指摘されているが、体系的な把握・分析は、なされていない。そこで学協会の実態調査を実施し、機能強化に向けた検討を行い学協会の体制強化を行う。 (実施予定期間 1年)	内閣府 (日本学術会議)
日本人が、身に付けるべき科学技術の基礎的素養に関する調査研究	国民の科学技術に関する関心や理解の向上に向け、一般的な大人が身に付けておくべき科学技術の基礎的知識や考え方を、身近に、生活に密着して理解できるよう、従来の学問分野や教科の枠を超えて整理し、体系的にまとめたもの(科学技術リテラシー像)の策定に向けた調査研究を行う。 (実施予定期間 2年)	内閣府 (日本学術会議) 文部科学省 (教育政策研究所)

※担当府省において、入札により実施機関を選定し課題を実施